

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第38期第2四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社アスモ （旧会社名 シンワオックス株式会社）
【英訳名】	ASMO CORPORATION （旧英訳名 SHINWA・OX CORPORATION）
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長井 尊
【本店の所在の場所】	大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号
【電話番号】	大阪06（6683）3101
【事務連絡者氏名】	経営企画室室長 岡田 秀樹
【最寄りの連絡場所】	大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号
【電話番号】	大阪06（6683）3101
【事務連絡者氏名】	経営企画室室長 岡田 秀樹
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

（注）平成24年6月26日開催の第37回定時株主総会の決議により、平成24年7月1日から会社名を上記のとおり変更いたしました。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第2四半期連結 累計期間	第38期 第2四半期連結 累計期間	第37期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	3,768,236	4,486,581	7,891,444
経常利益(千円)	331,466	364,937	762,874
四半期(当期)純利益(千円)	323,462	305,389	954,073
四半期包括利益又は包括利益(千円)	310,426	313,267	982,327
純資産額(千円)	757,521	1,742,689	1,429,421
総資産額(千円)	2,320,059	3,133,747	2,957,550
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	2.31	2.18	6.80
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	29.6	51.8	44.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	234,071	385,439	652,681
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	39,961	55,965	40,117
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	136,872	181,952	303,772
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	401,036	802,243	666,265

回次	第37期 第2四半期連結 会計期間	第38期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	1.26	1.05

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社（株式会社アスモ）及び連結子会社2社により構成されており、食肉の輸出入、食肉及び食肉加工品販売をはじめ、外食店舗の経営、主に高齢者福祉施設における給食の提供、介護福祉施設の入居斡旋及び訪問介護を主な内容として事業活動を展開しております。

当第2四半期連結累計期間における、各セグメントに係る主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は、概ね次のとおりであります。

A．卸売事業

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

B．外食事業

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

C．給食事業

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

D．介護事業

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの介護事業は、従来から行っている関西エリアにおける株式会社ベストライフの開設する介護福祉施設の入居斡旋業務に加えて、平成24年7月2日付で株式会社アスモ介護サービスを100%子会社として設立し、訪問介護事業を新たに開始いたしました。これに伴い、当社の関係会社は連結子会社が1社増加いたしました。

これは、高齢者介護施設の入居斡旋業務を通じて、介護事業に関するノウハウ等の蓄積に努めてきたことを活かし、今後ますます成長の見込める訪問介護の分野に進出したものであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復が続きましたが、欧州債務問題の再燃による世界経済の減速懸念や円高の長期化等により、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、給食事業を収益の柱として一層の向上を図るとともに、その他の事業についても安定的な収益の確保に向け取り組んでおり、当第2四半期連結会計期間において、当社100%子会社である株式会社アスモ介護サービスを設立し、今後の成長が見込める訪問介護の分野に進出いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,486百万円（前年同四半期比 19.1%増）、営業利益375百万円（前年同四半期比 6.0%増）、経常利益364百万円（前年同四半期比 10.1%増）となりましたが、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益は、法人税等及び少数株主利益が増加したことにより305百万円（前年同四半期比 5.6%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

卸売事業

卸売事業におきましては、東日本大震災及び焼肉店における集団食中毒事件から1年が経過し、徐々に回復傾向にありましたが、生食に対する規制が強化されるなど食肉業界におきましては需要の冷え込みが未だ続いております。当社が取り扱っている商品におきましても、牛内臓肉の販売において焼肉店向け商品の価格の下落等があり、利益に影響をおよぼしました。しかしながら、既存顧客に対する継続販売を中心に強化し、牛肉のみではなく豚肉等の低価格商品の取り扱いを増やした結果、売上高・利益額共に増加いたしました。

結果、卸売事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、871百万円（前年同四半期比 45.5%増）、営業利益は、34百万円（前年同四半期比 146.6%増）となりました。

外食事業

外食事業におきましては、連結子会社であるOX（H.K.）COMPANY LIMITEDが、香港にて日本食の外食店舗を運営しており、既存店舗の強化（改装、メニュー変更等）に努めております。

結果、外食事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、643百万円（前年同四半期比 14.9%増）となり、営業利益は、53百万円（前年同四半期比 220.9%増）となりました。

給食事業

給食事業におきましては、高齢者介護施設の給食受託が順調に増加し、安定的な収益確保に寄与しております。また、公共施設の給食等受託に向けた取り組みで、長期的な成長に向け新たな基盤の開発・強化に努めております。

結果、給食事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,837百万円（前年同四半期比 15.1%増）、営業利益は、352百万円（前年同四半期比 4.9%減）となりました。

介護事業

介護事業におきましては、株式会社ベストライフの開設した高齢者介護施設の入居斡旋業務に加え、当第2四半期連結会計期間において、当社100%子会社である株式会社アスモ介護サービスを設立し、訪問介護事業所の開設を行い訪問介護の分野に進出いたしました。

結果、入居斡旋業務については、前期に開設した高齢者介護施設の前第4四半期中の前倒し需要が影響し、訪問介護については、事業の開始まもないことから、介護事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、134百万円（前年同四半期比 7.0%減）、営業利益は、76百万円（前年同四半期比 28.7%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、802百万円となり、前連結会計年度末より135百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、385百万円（前年同四半期は234百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益362百万円、たな卸資産の増加66百万円、法人税等の支払額42百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、55百万円（前年同四半期は39百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出44百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、181百万円（前年同四半期は136百万円の支出）となりました。これは、短期借入金及び長期借入金の返済によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、セグメントごとの仕入及び販売実績が次のとおり著しく変動いたしました。

仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同期比(%)
卸売事業 (千円)	858,528	148.4
外食事業 (千円)	216,270	108.1
給食事業 (千円)	1,020,858	113.9
介護事業 (千円)	-	-
合計 (千円)	2,095,657	125.1

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同期比(%)
卸売事業 (千円)	871,784	145.5
外食事業 (千円)	643,046	114.9
給食事業 (千円)	2,837,439	115.1
介護事業 (千円)	134,310	93.0
合計 (千円)	4,486,581	119.1

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	600,000,000
計	600,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	151,451,750	151,451,750	(株)大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	151,451,750	151,451,750	-	-

(注) 1. 「提出日現在発行数」欄には、平成24年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使(旧商法に基づき発行された新株引受権(ストックオプション)の権利行使を含む。)により発行された株式数は含まれておりません。

2. 発行済株式数のうち4,610千株は、現物出資(貸付金債権299,650千円)によるものであります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	151,451	-	2,323,272	-	2,336,010

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社Persons Bridge	東京都新宿区西新宿三丁目2-7 パシ フィックマークス西新宿ビル7階	95,000	62.72
株式会社ベストライフ	東京都新宿区西新宿二丁目6-1 新宿住友 ビルディング39階	15,284	10.09
長井 博實	東京都杉並区	5,663	3.73
福山 良二	千葉県中央区	1,332	0.87
山崎 理恵	東京都港区	1,210	0.79
今井 賢一	東京都港区	774	0.51
小西 静馬	京都市伏見区	687	0.45
武田 昌姫	横浜市神奈川区	584	0.38
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4	462	0.30
川島 成介	東京都福生市	437	0.28
計	-	121,433	80.17

(注) 上記のほか、自己株式が11,242千株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 11,242,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 140,200,000	140,200	-
単元未満株式	普通株式 9,750	-	-
発行済株式総数	151,451,750	-	-
総株主の議決権	-	140,200	-

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社アスモ	大阪市住之江区北加 賀屋五丁目7番30号	11,242,000	-	11,242,000	7.42
計	-	11,242,000	-	11,242,000	7.42

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について宙有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	666,265	802,243
受取手形及び売掛金	843,451	819,065
商品	160,289	222,143
貯蔵品	12,089	14,481
その他	277,899	273,849
貸倒引当金	471	503
流動資産合計	1,959,522	2,131,281
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	515,283	526,790
有形固定資産合計	515,283	526,790
無形固定資産		
のれん	408,143	393,321
その他	2,229	2,113
無形固定資産合計	410,372	395,435
投資その他の資産		
その他	409,663	414,405
貸倒引当金	337,291	334,164
投資その他の資産合計	72,371	80,240
固定資産合計	998,027	1,002,466
資産合計	2,957,550	3,133,747
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	316,493	327,817
短期借入金	626,208	446,208
未払金	325,143	336,119
未払法人税等	24,013	48,377
賞与引当金	36,963	49,517
返品調整引当金	10,193	8,460
その他	153,894	162,713
流動負債合計	1,492,910	1,379,214
固定負債		
長期借入金	12,110	9,458
退職給付引当金	-	276
その他	23,107	2,107
固定負債合計	35,218	11,843
負債合計	1,528,128	1,391,058

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
資本剰余金	2,374,344	2,374,344
利益剰余金	3,368,825	3,063,435
自己株式	42,303	42,303
株主資本合計	1,286,488	1,591,877
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	37,577	31,340
その他の包括利益累計額合計	37,577	31,340
少数株主持分	105,356	119,471
純資産合計	1,429,421	1,742,689
負債純資産合計	2,957,550	3,133,747

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,768,236	4,486,581
売上原価	2,591,523	3,207,687
売上総利益	1,176,712	1,278,894
返品調整引当金戻入額	4,244	10,193
返品調整引当金繰入額	4,769	8,460
差引売上総利益	1,176,187	1,280,626
販売費及び一般管理費	821,367	904,642
営業利益	354,819	375,983
営業外収益		
受取利息	95	82
貸倒引当金戻入額	4,739	1,195
受取手数料	732	673
助成金収入	-	769
その他	451	593
営業外収益合計	6,018	3,313
営業外費用		
支払利息	9,770	5,783
為替差損	9,529	7,277
その他	10,072	1,298
営業外費用合計	29,372	14,360
経常利益	331,466	364,937
特別損失		
固定資産売却損	240	36
会員権売却損	-	804
和解金	-	1,300
特別損失合計	240	2,141
税金等調整前四半期純利益	331,225	362,795
法人税、住民税及び事業税	6,849	37,298
法人税等合計	6,849	37,298
少数株主損益調整前四半期純利益	324,375	325,497
少数株主利益	913	20,107
四半期純利益	323,462	305,389

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	324,375	325,497
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	13,949	12,229
その他の包括利益合計	13,949	12,229
四半期包括利益	310,426	313,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,348	299,152
少数株主に係る四半期包括利益	5,921	14,115

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	331,225	362,795
減価償却費	27,274	28,465
のれん償却額	14,821	14,821
返品調整引当金の増減額(は減少)	525	1,732
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,309	3,095
退職給付引当金の増減額(は減少)	-	276
賞与引当金の増減額(は減少)	11,375	12,709
受取利息及び受取配当金	95	82
支払利息	9,770	5,783
株式交付費償却	7,539	-
為替差損益(は益)	10,282	7,608
有形固定資産売却損益(は益)	23	36
無形固定資産売却損益(は益)	217	-
会員権売却損益(は益)	-	2,704
売上債権の増減額(は増加)	31,144	21,971
その他の資産の増減額(は増加)	31,495	4,240
たな卸資産の増減額(は増加)	53,484	66,479
仕入債務の増減額(は減少)	8,617	12,609
その他の負債の増減額(は減少)	60,046	47,657
未払消費税等の増減額(は減少)	8,700	11,247
その他	215	929
小計	294,601	439,973
利息及び配当金の受取額	95	82
利息の支払額	46,722	12,267
法人税等の支払額	13,902	42,349
営業活動によるキャッシュ・フロー	234,071	385,439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	42,139	44,641
有形固定資産の売却による収入	0	12
差入保証金の差入による支出	147	3,371
差入保証金の回収による収入	1,263	-
会員権の売却による収入	-	2,195
貸付金の回収による収入	1,061	786
保険積立金の積立による支出	-	10,946
投資活動によるキャッシュ・フロー	39,961	55,965
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	135,000	180,000
長期借入金の返済による支出	1,872	1,952
財務活動によるキャッシュ・フロー	136,872	181,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,126	11,543
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	43,110	135,978
現金及び現金同等物の期首残高	357,925	666,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	401,036	802,243

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

連結の範囲の重要な変更

平成24年7月2日付で株式会社アスモ介護サービスを新たに設立したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【追加情報】

(退職給付引当金)

新たに連結の範囲に含めた株式会社アスモ介護サービスにおいて、従業員の退職給付に備えるため、退職給付会計に関する実務指針(会計制度委員会報告第13号)に定める簡便法に基づき、退職金規程による当第2四半期連結会計期間末自己都合要支給額を計上しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
従業員(1名)	168千円	113千円
堂島ホテル㈱	376,589	265,598
計	376,758	265,711

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
従業員給料及び手当	291,112千円	323,737千円
賞与引当金繰入額	36,029	49,517
退職給付費用	-	276

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	401,036千円	802,243千円
現金及び現金同等物	401,036	802,243

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当に関する事項
該当事項はありません。
2. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当に関する事項
該当事項はありません。
2. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	599,224	559,415	2,465,206	144,390	3,768,236	-	3,768,236
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	599,224	559,415	2,465,206	144,390	3,768,236	-	3,768,236
セグメント利益	13,883	16,769	370,492	106,974	508,118	153,299	354,819

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	508,118
セグメント間取引消去	-
のれんの償却額	12,180
全社費用(注)	141,118
四半期連結損益計算書の営業利益	354,819

(注)全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	871,784	643,046	2,837,439	134,310	4,486,581	-	4,486,581
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,439	-	76	-	1,515	1,515	-
計	873,224	643,046	2,837,515	134,310	4,488,097	1,515	4,486,581
セグメント利益	34,238	53,817	352,483	76,264	516,803	140,819	375,983

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	516,803
セグメント間取引消去	157
のれんの償却額	12,180
全社費用（注）	128,743
たな卸資産の調整額	52
四半期連結損益計算書の営業利益	375,983

（注）全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間において、株式会社アスモ介護サービスを新たに設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。当該会社の報告セグメントは「介護事業」としております。

なお、当該変更に伴う報告セグメントの業績及び資産への影響は軽微であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
1株当たり四半期純利益金額	2円31銭	2円18銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	323,462	305,389
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	323,462	305,389
普通株式の期中平均株式数（千株）	140,209	140,209
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

新設分割による分社化について

当社は、平成24年10月26日開催の取締役会において、平成25年4月1日(予定)を効力発生日として、卸売事業及び給食事業の有する権利義務等を会社分割により、新たに設立する株式会社アスモトレーディング及び株式会社アスモフードサービスに承継させることを内容とする新設分割計画(以下、「本新設分割」といいます。)を決議いたしました。

本新設分割の概要は以下のとおりであります。

1. 会社分割の目的

当社は、食肉卸売事業、給食事業及び介護福祉施設入居斡旋事業を営んでおり、さらに、平成24年7月2日付で株式会社アスモ介護サービスを100%子会社として設立し訪問介護事業を新たに開始いたしました。

このような状況の中、それぞれの事業分野において専門化・特殊化が進む市場への迅速・的確な対応
事業分野に適応した人材の育成・教育・採用 事業分野に特化した判断による業務の効率化 経営責任の明確化 将来を担う経営者の育成 を目的として、卸売事業を営む会社、給食事業を営む会社を新設分割の方法により設立いたします。

なお、当社は平成23年1月31日開催の臨時株主総会において給食事業にかかる新設分割の中止を決議しておりますが、当時と比較して、前記 及び の必要性が増しており、その対応が経営の急務であると判断し今般の決議に至りました。また、このことにより前記 ・ ・ の効果を上げ経営の効率化を図ってまいります。

2. 会社分割する事業内容及び規模

(1) 分割する部門の主な事業内容

卸売事業...牛肉・豚肉・食肉加工品の販売
給食事業...高齢者福祉施設における給食サービスの提供

(2) 分割する事業部門の経営成績(平成24年3月期)

卸売事業

	卸売事業(a)(千円)	当社(b)(連結)(千円)	比率(a/b)(%)
売上高	1,276,688	7,891,444	16.2
営業利益	23,940	789,452	2.9

給食事業

	卸売事業(a)(千円)	当社(b)(連結)(千円)	比率(a/b)(%)
売上高	5,074,247	7,891,444	64.3
営業利益	702,752	789,452	89.0

3. 会社分割の形態

当社を分割会社とし、株式会社アスモトレーディング及び株式会社アスモフードサービスを新設会社とする分社型の新設分割であります。

4. 割当の内容

新設会社となる株式会社アスモトレーディング及び株式会社アスモフードサービスは、普通株式1,000株を発行し、すべてを分割会社である当社に割当交付するものであります。

5. 会社分割に係る分割会社又は新設会社の概要

(1) 会社分割後の上場会社（分割会社）の状況

商号	株式会社アスモ
事業内容	グループ各社の経営管理
設立年月日	昭和50年4月26日
本店所在地	大阪府大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 長井 尊
資本金	2,323,272千円
発行株式数	151,451,750株
決算期	3月31日

(2) 新設会社

卸売事業

商号	株式会社アスモトレーディング
事業内容	牛肉・豚肉・食肉加工品の販売、他
設立年月日	平成25年4月1日（予定）
本店所在地	大阪府大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 奥田 宏
資本金	10,000千円
発行株式数	1,000株
純資産	140,304千円
総資産	332,077千円
負債	191,772千円
決算期	3月31日
大株主及び持株比率	株式会社アスモ 100%

（注）純資産、総資産及び負債については、平成24年8月31日現在の貸借対照表に基づき算出したものであるため、分割の効力発生時点における純資産、総資産及び負債の額と異なる可能性があります。

給食事業

商号	株式会社アスモフードサービス
事業内容	給食事業の請負及び管理, 他
設立年月日	平成25年4月1日(予定)
本店所在地	東京都新宿区西新宿三丁目2番7号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 長井 尊
資本金	10,000千円
発行株式数	1,000株
純資産	198,233千円
総資産	635,437千円
負債	437,204千円
決算期	3月31日
大株主及び持株比率	株式会社アスモ 100%

(注) 純資産、総資産及び負債については、平成24年8月31日現在の貸借対照表に基づき算出したものであるため、分割の効力発生時点における純資産、総資産及び負債の額と異なる可能性があります。

6. 会社分割の日程

臨時株主総会基準日	平成24年9月30日
取締役会	平成24年10月26日
臨時株主総会	平成24年12月19日
分割期日及び新設会社の設立登記日	
卸売事業	平成25年4月1日(予定)
給食事業	平成25年4月1日(予定)
株券交付日	
卸売事業	平成25年4月1日(予定)
給食事業	平成25年4月1日(予定)

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

株式会社アスモ
取締役会 御中

宙有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 荒木 康弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡本 雅秀 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アスモ（旧会社名シンワオックス株式会社）の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アスモ（旧会社名シンワオックス株式会社）及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載の通り、会社は平成24年10月26日の取締役会で会社分割を決議している。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。